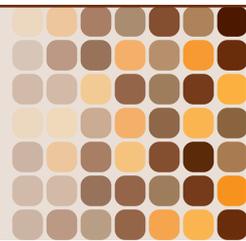


ポート・ヒロックで暮らす

LIFE IN PORT-HILLOCK

ご入居の方のインタビューや生活の様子をご紹介します



妻が病気になり、妻は介護棟に入居し、私は一般棟に入居しました。

<一般棟にご入居の金城様のインタビューをお伝えします>

入居されたきっかけを教えてください

ポート・ヒロックは国道から目立つ場所に建っているのですが、妻と一緒に見学したことがありました。定年後、夫婦で自宅に暮らしていましたが、妻が病気になり、そのまま介護が必要な状態になってしまいました。途方に暮れていると妻が見学したことを覚えていて、妻の希望でポート・ヒロックへの入居を決めました。妻は介護棟に、私は少し後から一般棟に入居しました。

入居して良かった事

(施設内) レストランで食事ができることです。妻が入院してから、一番困ったのが自分の食事です。今までは全て妻に任せていましたので、家の事が全く分からない。困りました。入居後、妻は介護棟で安心して看てもらえるし、自分はレストランに行けばちゃんと食事が準備されているのが嬉しかったです。毎日美味しく頂いています。

また、車椅子の生活になってから外出が大変なので、買物代行サービスも便利に利用しています。

今の生活について

車椅子での生活になりましたが、自分で移動できるので館内を自由に動けます。身の回りの事は週1回部屋掃除のお手伝いさんが来てくれて、風呂は介護棟で週3回入ります。機能訓練は週2回受けて、足を鍛える運動とか歩行訓練をしています。歩けるようになりたい気持ちはあるけれど、訓練をサボってみたい(笑)、車椅子を卒業出来るか分からないけど、自分でやれる分は頑張ってみようと思う。外出して楽しく歩いてみたいです。



金城 様 (90 歳)

2013年よりご入居され、今年で入居9年目になります。年齢を重ね、身体の変化に合わせながら車椅子を利用され、少しずつサポートが必要になりましたが、一般居室棟に住み続けながら前向きに自立した生活を送っています。



入居後の身体の変化に合わせ、サポートします。

ポート・ヒロックの一般居室棟へのご入居には「ご自身で身の回りの事が出来る事」が入居要件ですが、ご入居後、お手伝いが必要になった時、ご本人やご家族様に寄り添いながら、ご入居者のお身体の変化に合わせた必要なサポートをチームで検討します。ケアマネジャーや看護師、介護スタッフ、機能訓練指導員も館内に常駐していますので、スムーズに必要な介護につなげる事が出来ます。また、一般居室棟での生活が困難になった際には介護棟へ住替える事が出来ます。ご入居について詳しくは入居相談員までお気軽にお問い合わせください。